

様式3

注1 法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針	【東レ建設】 施工段階のCO2排出量の削減に向け、より実効性の高い取り組みを実施しています。 【関電不動産開発】（関西電力グループ環境行動指針より） 低炭素社会の実現に向けた挑戦、循環型社会の実現に向けた活動の展開、地域環境保全対策の推進を実施しています。
----------	--

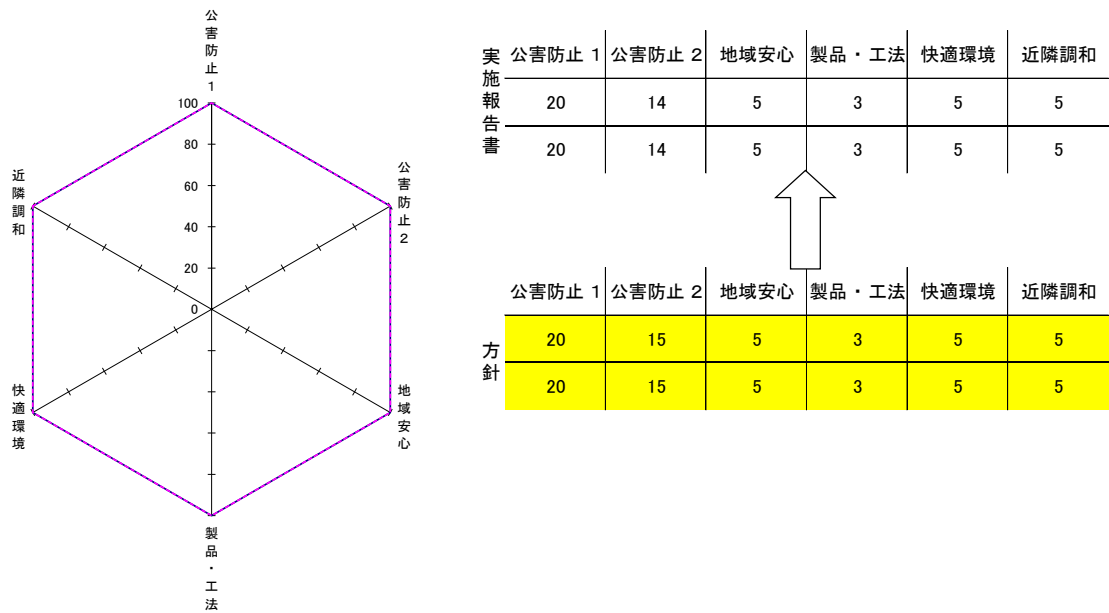
当該事業における環境まちづくり方針	【東レ建設】 ・月単位でのCO2排出量の計測と報告・分析を行い、工事期間中における削減目標の達成度合いを、自ら検証する取り組みを実施しています。 ・企画・設計・リニューアルなど建設事業の関わる全ての分野において、CO2削減に効果的な工法や技術の研究開発をおこなっています。 【関電不動産開発】 大規模な住宅地開発や戸建住宅の開発にも、人と自然と触れ合う住まいづくりを展開。緑地の設置、地域コミュニティの醸成などを通じて、それぞれの地域のシンボルとなる街づくりを実施しています。
-------------------	--

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

実施率	100	パーセント	実施した・一部実施したの項目数	=	52
		(小数点第2位以下切り捨て)	該当なしを除いた項目数		52

---:方針, -:実施報告書



主な実施内容

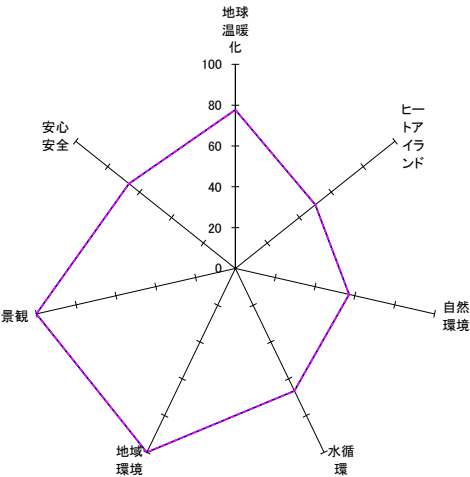
- ・排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を使用しました。
- ・排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
- ・空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
- ・工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率	78.3	パーセント	実施した・一部実施したの項目数	=	29
(小数点第2位以下切り捨て)			該当なしを除いた項目数		37

---:方針, -:実施報告書



実施報告書	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	7	1	4	2	9	4	2
	9	2	7	3	9	4	3

方針	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	7	1	4	2	11	5	2
	9	2	7	3	11	5	3

主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入 CO2削減量 12.63 t-CO2/年

導入内容

・専有部及び共用部にLED灯を導入しました。
専有部:玄関、トイレ、キッチン、洗面所に戸あたり各1ヵ所、計220ヶ所。
共用部(集会所含む)計77ヶ所。
・給湯器については、専有部・共用部共に、エコジョーズ(給湯効率:95%)を導入しました。
計56台。

(2)緑地面積 緑化率 29.6 % 条例基準分 25.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

プレイロット廻りほかに、張り芝50.56㎡を実施しました。

(3)雨水利用 雨水貯留量 1183.53 t うち雨水利用量 0.0 t

利用目的 ☐ 植栽水やり ☐ トイレの流し水 ☐ 洗車 ☐ その他

(4)上記以外の主な実施内容

・T1サッシを採用しました。
・周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の設置については、周辺住宅や西側道路に隣接しない計画とするなど、近隣に配慮した計画としました。
・廃棄物置場やポンプ室の位置は、周辺住宅や西側道路に隣接しない計画としました。また廃棄物置場やポンプ室はRC造の躯体で覆い、悪臭や騒音を近隣に発しない建物構造としました。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容		修正後のチェック内容
33	実施する	→	該当なし
89	実施する	→	該当なし
90	実施する	→	該当なし
94	実施する	→	該当なし
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚染や騒音などの公害を防止します。		
建設機械		
1 低公害型建設機械の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を使用しました。
2 低燃費型建設機械の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	低燃費型建設機械(ハイブリット式パワーショベル等)を、可能な限り使用しました。
3 アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
4 環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
5 稼働台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6 工事の平準化	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。
7 機械類の整備点検	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	機械類は適切に整備点検を行いました。
工事関連車両		
8 低公害、低燃費車の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しました。
9 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府条例の流入車規制は廃止されましたが、工事関連車両については、この条例に準ずる形で運用しました。
10 工事関連車両の表示	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両であることを車両に表示しました。
11 周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定しました。
12 建設資材の搬出入における車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定し、車両台数を抑制しました。
13 通勤等で利用する車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました。
14 土砂の積み降ろし時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しました。
15 タイヤ洗浄	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行った際は、騒音や水質汚濁に配慮しました。
17	場外待機の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させませんでした。
18	クラクションの使用抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
20	環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
工事方法 騒音・振動等			
21	防音シートなどの設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設作業時は、仮囲いと養生シートを設置し、解体作業時は、仮囲いと防音シートを設置しました。
22	丁寧な作業	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	杭の施工には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行いました。
粉じん・アスベスト			
25	粉じん飛散防止対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への粉じん飛散を防止するため、解体・掘削作業、土砂等の堆積場の設置等を行った場合は、散水等の粉じん飛散防止対策を行いました。
26	アスベストの調査など	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建築物などの解体の際は、アスベストの使用の有無を調査するとともに、調査結果(一部アスベスト使用有り)を表示した標識を近隣住民の見やすい位置に設置し、市長に報告しました。
27	アスベスト飛散防止対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	アスベストを含有する建築物等の解体の際には、確実な飛散防止対策を行いました。
水質汚濁・土壌汚染・地盤沈下			
28	濁水や土砂の流出防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
29	塗料などの適正管理及び処分	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は適正に処分しました。
30	土壌汚染対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	法令に基づく地歴調査・大阪府に対する聞き取り調査の結果、土壌汚染の恐れはありませんでした。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
31	地盤改良時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	地盤改良の際に、六価クロム溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工しました。
32	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。
悪臭・廃棄物			
33	アスファルト溶解時の臭気対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	アスファルト溶融作業はありませんでした。
34	現地焼却の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現地で廃棄物の焼却を行いませんでした。
35	解体時の環境汚染対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	解体工事の際は、保管されているPCB使用機器、空調機器などに使用されているフロン類などやその有害廃棄物の状況を工事前実施前に調査し、環境汚染とならないよう適正な処理を行いました。
36	仮設トイレ設置時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレ設置の際は、適切なメンテナンスと設置場所に配慮し、臭気対策を行いました。
地域の安全安心に貢献します。			
37	地域との連携における事故の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故防止に努めました。
38	児童などへの交通安全の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
39	夜間や休日の防犯対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないように、出入口を施錠するなど防犯対策を講じました。
40	児童などへの見守り、声かけ	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	誘導員の配置により登下校中や放課後の児童や生徒の見守りや声掛けなどに取り組みしました。
41	地域の防犯活動への参加	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	防犯活動への参加要請はありませんでしたが、南千里地区青色防犯パトロール隊より寄付を求められ、協賛しました。
環境に配慮した製品及び工法を採用します。			
省エネルギー			
42	エネルギー消費の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギー効率の良い機器の利用などにより工事中に使用する燃料や電気、水道水などの消費を抑制しました。
省資源			
43	残土発生の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設発生土は現地での埋戻しに使用するなど、残土の発生を抑制しました。
44	廃棄物の減量	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
快適な環境づくりに貢献します。			
景観			
45	仮囲い設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で景観面にも配慮しました。
46	仮設トイレ設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所等を工夫しました。
周辺的环境美化			
47	周辺道路の清掃	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行いました。
48	場内整理	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。
ヒートアイランド現象の緩和			
49	打ち水	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夏期において水道水を確保し、周辺道路などに打ち水を行いました。
地域との調和を図ります。			
工事説明・苦情対応			
50	工事内容の事前説明及び周知	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施中も適宜、現況と今後の予定をお知らせしました。また、解体工事では、市条例に基づき、事前に工事の概要を表示した標識を設置しました。
51	苦情対応	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事に関しての苦情窓口を設置し、連絡先などを掲示した上で、苦情が発生した際には真摯に対応しました。
周辺の教育・医療・福祉施設への配慮			
52	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	佐竹台幼稚園、高野台中学校に対して、工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、施設での行事や利用状況に配慮した工事計画としました。
53	騒音、振動などの配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	佐竹台幼稚園、高野台中学校に対して、騒音、振動、通風、採光などに配慮をしました。
周辺の事業者との調整			
54	複合的な環境影響の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施行者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めました。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温暖化対策を行います。		
55 大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度の活用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果を得られるよう努めるとともに、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物などに表示しました。 CASBEE総合評価はAランクを取得しました。 【活用用地】造成につき該当なし
56 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)設計	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】戸建住宅でないため 該当なし 【活用用地】購入者に対し、ZEHでの設計を推奨します。
57 高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】専有部及び共用部にLED灯を導入しました(専有部:玄関、トイレ、キッチン、洗面所に戸当たり各1カ所ずつ、計220ヶ所、加えて共用部(集会所含む)計77ヶ所)。給湯器については、専有部、共用部共に、エコジョーズ(給湯効率:95%)を導入しました(計56台)。 【活用用地】購入者に対し、高効率や省エネルギー型の機器の採用を推奨します。
58 再生可能エネルギーの活用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】太陽光発電等の再生可能エネルギーを活用した設備は、購入価格への影響が過大となるため採用しませんでした。 【活用用地】購入者に対し、再生可能エネルギーの採用を推奨します。
59 エネルギー効率の高いシステムの導入	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】省エネ効果の高い給湯機(エコジョーズ 給湯効率95%)を住戸各1台、計55台、集会所1台を設置しました。 【活用用地】購入者に対し、エネルギー効率の高いシステムの採用を推奨します。
60 エネルギーを管理するシステムの導入	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】HEMS、BEMSなどは、導入に費用がかかるため採用しませんでした。 【活用用地】購入者に対し、エネルギーを管理するシステムの導入を推奨します。
61 冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】冷媒を必要とする空調設備を未装着しませんでした。 【活用用地】冷媒を必要とする空調設備を未装着しません。
62 建築物のエネルギー負荷の抑制	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】内断熱工法を採用して断熱性能を向上させ、建築物のエネルギー負荷を抑制しました。建設住宅性能評価の断熱等性能等級の等級3を取得しました。 【活用用地】購入者に対し、断熱工法の採用を提案し建築物のエネルギー負荷の抑制を推奨します。
63 長寿命な建築物の施工	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】コンクリートの水セメント比を高め、基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工しました。建設住宅性能評価の劣化対策等級の等級3を取得しました。 【活用用地】購入者に対し、建築計画では、住宅性能評価劣化対策等級2以上を標準仕様として推奨します。
64 環境に配慮した建設資材などの製品の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】吹田市の灰溶融スラグを利用したインターロッキングブロックをエントランス広場、歩行者通路に採用し(240㎡)、木製デッキに再生木材を使用するなど、資源循環や環境保全に配慮した製品を採用しました。 【活用用地】購入者に対し、環境に配慮した建設資材などの製品の採用を推奨します。
ヒートアイランド対策を行います。		
65 建物屋根面、壁面の高温化抑制	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】高反射塗料や再帰性高日射反射率建材は、イニシャルコストや改修時のコストがかかるため、採用できませんでした。また植栽を設ける場合は、維持管理のしやすさを考えた配植を計画する必要があるため、建物屋根面や壁面は緑化しませんでした。 【活用用地】購入者に対し、建物屋根面、壁面の高温化の抑制を推奨します。
66 地表面の高温化抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】条例基準25%を超える緑化率29.6%を確保し、またフレイロト廻りほかに、張り芝50.56㎡を実施し、地表面の高温化を抑制しました。 【活用用地】購入者に対し、積極的な緑化を提案し、地表面の高温化の抑制を推奨します。
自然環境を保全し、みどりを確保します。		
67 動植物の生息や生育への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】条例基準25%を超える29.6%の緑化率を確保し、隣接する緑地に繋がるように緑地を計画し、動植物の生息や生育への配慮をしました。 【活用用地】購入者に対し、積極的な緑化を提案し、動植物の生息や生育への配慮を推奨します。
68 地域のシンボルツリーの保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	【府営住宅】地域のシンボルツリーはありませんでした。 【活用用地】地域のシンボルツリーはありません。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
69	既存の植生の保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】計画地内ほぼ全域において切土、盛土を伴う宅地造成を行う計画であるため既存樹木保存等はできませんでした。 【活用用地】府営住宅に同じ。
70	地域に応じたみどりの創出	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】事業計画地北側及び西側道路沿いにみどりを連続させて配置するなど、千里ニュータウンの地域特性に応じた、みどりが連続するまちなみ景観を創出しました。 【活用用地】購入者に対し、地域に応じたみどりの創出を推奨します。
71	駐車場緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】府営住宅の駐車場要求水準書より、駐車区画内に芝貼り等の植栽を設けないことになっているため、実施ませんでした。 【活用用地】購入者に対し、駐車場の緑化を推奨します。
72	屋上緑化など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】樹木の手入れや除草は基本的に入居者負担であるため、高齢化が進む本住宅では大きな負担となっているのが現状です。植栽を設ける場合は、維持管理のしやすさを考えた配植を計画する必要があるため、屋上緑化はしませんでした。 【活用用地】購入者に対し、陸屋根のプランに限り屋上の緑化などを推奨します。
73	法面緑化	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】法面は、低木、地被類などを植栽し、緑化率に換算できる緑化を行いました(253㎡)。 【活用用地】法面がある区画の購入者に対し、法面の緑化を推奨します。
74	植栽樹種の選定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選定しました。 【活用用地】購入者に対し、地域の環境に合わせた植栽樹種の選定を推奨します。
水循環を確保します。			
75	水資源の有効利用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】共同住宅なので、雨水を利用する設備(雨水タンク、散水設備など)は、故障の際の修理費用の捻出が難しいため、設置しませんでした。 【活用用地】購入者に対し、水資源の有効利用を推奨します。
76	雨水流出を抑制する施設の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	事業区域の面積に応じて、雨水流出を抑制するために、雨水貯留槽を設置しました。 【府営住宅】153.26t 【活用用地】1030.27t
77	雨水浸透への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】条例基準25%を超える29.6%の緑化率を確保しました。また歩道の舗装材は透水性アスファルト舗装(240㎡)を採用しました。敷地内通路については、透水性コンクリート舗装(56㎡) 【活用用地】購入者に対し、透水性の舗装材の採用を推奨します。
地域の生活環境を保全します。			
大気・騒音・振動等			
78	騒音や振動を発生させる設備設置時の配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	【府営住宅】騒音や振動を発生させる設備は設置しませんでした。 【活用用地】購入者に対し、騒音や振動を発生させる設備設置時に防音サッシの設置を提案、推奨します。
79	住宅における防音サッシ等の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】T1サッシを採用しました。 【活用用地】購入者に対し、住宅における防音サッシ等の採用を推奨します。
80	駐車場の配置計画時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の設置については、周辺住宅や西側道路に隣接しない計画とするなど、近隣に配慮した計画としました。 【活用用地】該当なし。
81	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】廃棄物置場の位置は周辺住宅や道路から離れた位置に計画とし、ポンプ室は、道路に向けない計画としました。また廃棄物置場やポンプ室はRC造の躯体で覆い、悪臭や騒音を近隣に発しない建物構造としました。 【活用用地】購入者に対し、住宅の計画にあっては、臭気や騒音を防止するため、窓、換気扇、排気口などに配慮した提案を購入者に行います。
82	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	【府営住宅】ボイラーなどの機器は設置しませんでした。 【活用用地】ボイラーなどの機器は設置しません。
83	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】屋外照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制しました。また広告照明は設置しませんでした。 【活用用地】購入者に対し、屋外照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制する提案を行います。
84	建築資材による光の影響の考慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】建築資材(ガラス)による太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮しました。 【活用用地】購入者に対し、建築資材による光の影響を考慮した提案を行います。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
85	環境に配慮した塗料の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。 【活用用地】購入者に対し、環境に配慮した塗料の使用を提案、推奨します。
86	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】近隣の佐竹台幼稚園、高野台中学校に対し、騒音、振動などに配慮をしました。福祉・医療施設は近隣にはありませんでした。 【活用用地】該当なし。
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)			
87	日照障害対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域(商業と工業地域を除く)を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明するとともに、できる限りその軽減をしました。 【活用用地】該当なし(高さ10mを超える建築物でない為)
88	電波障害の事前把握及び近隣説明	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。 【活用用地】該当なし(高さ10mを超える建築物でない為)
89	電波障害発生時の改善対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	【府営住宅】電波障害の発生はありませんでした。 【活用用地】該当なし(高さ10mを超える建築物でない為)
90	プライバシーの配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	【府営住宅】近隣住民のプライバシー侵害は、ありませんでした。 【活用用地】該当なし(高さ10mを超える建築物でない為)
景観まちづくりに貢献します。			
91	地域への調和	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮しました。
92	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を行いました。
93	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計を行いました。
94	重点地区指定に向けた協議	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	協議の結果、重点地区の指定を受けませんでした。
95	景観形成基準の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進しています。
96	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	屋外広告物の表示はありませんでした。
安心安全のまちづくりに貢献します。			
97	歩行者が安全に通行できる工夫	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	計画地内において歩車分離を図った設計とし、歩行者が安全に通行できるよう配慮しました。
98	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮した整備	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】府営住宅では条例等で義務とされない限り、災害時の防災対策に特化した設備機器については整備しないことになっているため、実施しませんでした。 【活用用地】集会所の設置基準として、災害時の防災対策に特化した設備機器については整備しないことになっています。
99	防犯対策のための安心安全に配慮した整備	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	【府営住宅】住戸玄関扉には防犯性の高いOP鍵を設置しました。 【活用用地】購入者に対し、住戸玄関扉には防犯性の高い鍵の導入を推奨します。